

H23年度苗穂東地区「まちづくり活性化事業」支援業務

楽楽ネットワーク事業ワークショップ

第1回・第2回を開催しました！

らくらく
楽楽ネットワーク事業ワークショップとは！？

○目標！ 「楽楽まちづくり活動計画を考えること！」

- ①まちづくり活動が楽で楽しくなる方法を考えます！
- ②まちづくりに関わる人が増える方法を考えます！
- ③「まちづくりセンター」の役目のアイデアを考えます！



○平成22年度から継続開催しています

H22年度：「レインボーサマーフェスティバル」楽楽方策を検討！

- 成果：「楽楽レインボー小チーム体制プラン」
 - ・小チーム体制で楽楽！→責任分担・体制の明確化
 - ・マニュアルで楽楽！（進行の記録・写真撮影を開始）
→だれでもいつでも進行管理を目指す
- *実施と検証を繰り返し、年々より楽に楽しくする！



H23年度：「ネットワーク事業」&「担い手拡大」楽楽方策を検討！

- 「ネットワーク事業」楽楽方策とは！？
苗穂連町にあるまちづくりに関わる約30の団体が連携し、運営している企画を楽楽にする方法を検討します
- *ネットワーク事業：田植え・稲刈り、じゃがいもづくり、ふれあい運動会、雪の祭典、子どもキャンプなど
- 「担い手拡大」楽楽方策とは！？
まちの暮らしを快適・安心安全にしたり、楽しくするための活動を支える人が高齢化したり、新しい参加者が増えなくなっています。
その原因・課題・問題を検証し、関わる人をどうしたら増やせるかを考えていきます。



○H23年度「楽楽ネットワーク事業ワークショップ：第1回・2回」の開催概要

□開催日時：[第1回] H24年2月3日(金)

10:30～12:00

：[第2回] H24年2月3日(金)

10:30～12:00

□会場：苗穂東まちづくりセンター

(東区苗穂町3丁目3番45号)



□参加者：まちづくり活動に関わる「ベテラン」「中堅」「若手」の皆さん25名

○第1回のようす

「ネットワーク事業“楽楽”アイデア出し！」

□プログラム

①挨拶

②説明：「ネットワーク事業一覧表」で現状を再認識

③グループごとに発表担当者を決定

④意見の書き出しタイム

*意見テーマ「こうしたらいいのに、と思うこと」

「しんどいなあ、と思うこと」

「そもそも、よくわからないことがある・・こと」など

⑤グループのなかで、書き出した意見発表＋意見交換

⑥グループの意見発表

⑦当日のまとめ

□当日のようす



□アンケートの設問と結果（回答数=2件）*ワークショップで意見を言い尽くしてくださったのか・・・

【設問1】本日のワークショップで言えなかったこと

- ・行事を何のために、何故するのか」「団体は何のためにあるのか、何故存在するのか」を説明することで、魅力や担い手育成につながる

【設問2】本日のワークショップの感想や要望等

- ・ワークショップに初めて参加された方から、まったく違う視点での意見が出されて、戸惑いと、改めて関わり方の難しさを感じました

【設問3】その他、まちづくり活動や市民自治についての自由意見

- ・なし

第1回 楽楽ネットワーク事業ワーキングショップ 意見の総まとめ（字数都合から行事名称は略称、団体名は呼び捨てです）

課題・問題点

各 行 事		課題・アイデアまとめ
じやかいも 地子連 民児協・ふれあいティン	●力仕事が多いので、男手が必要 ●参加者減少。ニーズにあつていない? ●連町全体の取り組みになっていない	●スケジュールの明確化 ●声かけのターゲットを絞つて誘う（花好き・農業好き・・・） ●今後の検討が必要→別事業への移行／野菜変更（トロピ・ニンジン）
田植え・稲刈り 連町総務部 女性部・女協 ティン・民児協	●子どもたちに有益。目的明確。 ●実施小学校数が多い ●来年度～：「進歩管理担当者」変更必要。誰がどうする？	●土日開催だが、男性参加が少ない ●嘱知：回観板で子ども会に ●半年間かかるので日程調整が大変
子ども縁日 青少年育成委員会 ふれあいティン・民児協 子連	●来年度：運営・準備は「誰」が「どうやる」のが合理的? ●当番制の促進 ●新たな狙い手：父母の参加（可能性大？）。コアメンバーは見守り	●スケジュールの明確化 ●予どもたちを集めめる方法を検討
子どもキャンプ 地子連 運町	●子どもの参加者が減っている ●会場の希望公園が校外なので、親同伴が必要 ●周知：小学校、育成委員の努力	●子どもの参加者が減っている ●当日の運営参加者の手が空く ●流れがとまり、空き時間ができるときがある
ふれあい運動会 連町	●所属・役職を複数もって参加している	●スケジュールの明確化 ●予どもたちを集めめる方法を検討
ふれあいお食事会 社協・ふれあいティン 女性部・地子連・小児医療 婦人会・青少年育成委員会	●高齢者が「食べる・見る・聞く」のみの企画から変更が必要では	●高齢者が身について、楽しめる体験型の企画実施（料理教室等）
子ども雪の祭典 連町・地子連 女性部・ふれあいティン・民 児協・体育振興会・青少年 育成委員会	○年年末開催。有職者は仕事が多忙になり、参加はきつい ○3日間連続開催。冬季雪像・スノーキャンドルはきつい	●地子連では当番制をとりいれれば負担軽減につながった
負担の軽減 リーダー・団体の明確化 人材試験合理化でカバー (準備協働、情報・知恵の共有) 役割分担、スケジュールの明確化・共 有・打合 当番制の導入・促進 人を増やし育てる。声かけ随時 行事内容の見直し 行事の必要性の検討・仕分け	●団体の目的を行事を通じて知 らせること ●協力団体を増やす ●協働事業化 ●「青あそび」と「子ども縁日」&「子ども雪像」 ●健康づくりへ「ヤフー」。昔あそ び・もちつき」等協力依頼有 ●団体・役割の整理も必要（長期）	●連宮参加者の手が空く→やり がいを味わう機会の喪失 ●コアメンバーは手を出さない ●当日運営参加者にまかせられる仕組みづくり ●初心者向け作業の明確化 ●興味をもってもらえる回数 ●必要な人出が明確でない →誘い方・一本釣り随時

前例は大切。でもしばられない。変える必要のあるものは変える決断も必要

○第2回のようす

「楽楽ネットワーク事業計画」の提案（案）づくり！

□プログラム

- ①挨拶
- ②説明：前回のまとめを確認
- ③グループごとに発表担当者を決定
- ④グループワーク（自由な意見交換）

*意見テーマ 第1回で多く出された「行事」について

○人手の合理化 ○運営体制・運営主体 ○各団体の

協力体制

○行事の分担・運営日程・・行事の統合・仕分け？

前例を尊重しつつ、とらわれず、自由に語り合おう！

- ⑤グループのなかで、書き出した意見発表＋意見交換
- ⑥グループの意見発表
- ⑦当日のまとめ

□当日のようす



□アンケートの設問と結果（回答数=3件）*ワークショップで意見を言い尽くしてくださったのか・・

【設問1】本日のワークショップで言えなかつたこと

- ・所属している会の内部事情、変わらないといけないかな、とも思う
- ・ひとつずつの事業の主担当は明確にし、全ての各種団体は充分に協力することが、負担軽減になるかと思います。理解者も増えることになります
- ・思ったことはだいたい言えました

【設問2】本日のワークショップの感想や要望等

- ・Aグループの結論（団体に属する個人の登録制）はよかったです
- ・今後の課題として、人材の確保の重要性（協力者を増やすための声かけ等、地域の人たちにしていくなど）参加をお願いするとよいのでは
- ・改めて、「ネットワーク事業」の「大変さ」がどのグループからも出ましたので、あと2回である程度の方向性が見つかることを願っています。

【設問3】その他、まちづくり活動や市民自治についての自由意見

- ・なし

.....**第3・4回では、「楽楽担い手拡大計画（案）！」を行います**.....

□ワークショップ参加者の皆さん、引き続きご協力をお願いします。

□ワークショップに参加していない皆様も、アイデア等ご意見を連町役員の皆さんや、まちセンスタッフにお知らせください！

第2回 楽楽ネットワーク事業ワークショップ 意見の総まとめ [各事業についての対策アイデア]

ネットワーク事業名 現状と課題

		対策アイデア (運営の進め方にについて)	対策アイデア (体制・目的の見直し)
1. 田畠え・稻刈り	主体は小学校 ○日程調整、実施内容は学校が主体で決定 ○さとりへど→学校→連絡の順で日程の連絡が入る	小学校などの事前調整・検討が必要 ○手をかけるべきところを明確化。短い手が共有する 事前準備 ○運送調整、レンタルボーグ（連町バス）手配・人材配置・調整など 3. 小学校で実施。日程変更による調整・連絡が負担 ○天候次第の日程変更で、人材再配置・バスの調整、託送連絡が負担 ・バスは「田畠え優先」。他活動に影響あり。予算もかかる 当日運営と短い手 ○主な作業：子どもたちの見守り、バスでの児童ピストン移動（八幡町） ○短い手は、児童数により、人手を少なくできる。 ○天候次第、毎日10～15名が多機能団体から参加 ○田畠えは人員不足。父兄の参加は少ない。 ○短い手は、自家用車乗合でバラバラに移動。非合理的 * (事務局より) 短い手の乗合の仕組みを明確化しては？	役割の明確化→主担当の明確化 ○主担当は総務部。見がたを継続する ・活動自らの合う部がない。 ・当番制を足進みで負担を減らす ○主担当は総務部でなく「副」「団体」が担う ・各団体からリーダーを選び、連町各部と連絡する ・育成委員会・体育振興会に担当事業多いため混雑 ○実施数を3校から1～2校に減らす
2. ジャがいも	●主催：地区子連 ●協力：地区的工場委員会 民選議・ふれあいイン ●参加者募集 ・回響版で募集 ・男子5～60名参加 ・参加者は減少傾向	畠の維持管理 ○毎年異なる冊子を発信（料金年2～3万円・直上上がり傾向・予算懸念） ○她的の工場委員会としてある、取扱い手はどちら作業。主任事。 日程変更による調整・連絡が負担 ○じゃがいも担当は半年度かなるので不变 ○天候次第の日程変更で、人材再配置・諸連絡が負担 当日運営と短い手 ○手事務事が多く、男手は施設的に足りない。 ○手事務事は子ども会家庭による口コミ中心、周知に限界 ○当日、大人が子どもの世話を焼いて、必要な作業をしない 他団体への依頼 ○他団体への協力要請には負担感・遠慮がある ○依頼しても、実現の難しい場合がある	東園好き・農作業好きな人に手伝つてもらう ○家庭菜園をしている人に参加してもらう 野菜の収穫の声 ○簡単に定期的に収穫物、満足感のあるもの（トマト・974等） ○定期的（収穫祭）は取りやめも便利 当日運営と短い手 ○手事務が必要なことは男手ではない。回響版で「男手」も募集！ ○手事務が必ず運営の手取り作業を参考する（見守りやめたり等） ○子どもが女性。見守りつつ任せせる（見守りやめたり等） 他団体への依頼 ○子どもにも関わる団体には「想い」があり！協力依頼を！ ○全ての団体が協力する仕組みをつくる
3. ふれあい運動会		短い手は事前割り当て ○必要な人員数を、事前に各種団体ごとに割り当てる 役割の明確化 ○役割分担をしっかりとし、短い手に伝える	短い手は事前割り当て ○必要な人員数を、事前に各種団体ごとに割り当てる 役割の明確化 ○役割分担をしっかりとし、当番制にする
4. 雪の祭典		参加者減少 ○雪像・キャラクタードルへの参加者が限界・減少 ○地域ニーズにあっていいのか、不必要なのが不明 冬季候の負担 ○寒さによる苦労者への負担を懸念 ○天候次第の日程変更で、人材再配置・諸連絡が負担	ニース把轡と負担軽減 ○雪像数を減らす、回数を減らす * (事務局より) 参加者や短い手への検討が必要では？ 人員と負担軽減 ○協力団体を増やす、当番制にする
5. 縁日	参加者の減少 ○参加者動員が負担	行事の紙会 ○縁日と音遊びを紙会して、実施する	○縁日と言遊びの紙会が可能か？
6. 子どもキャンプ	男女不足 ○男手が少ない、夜間の安全対策としても男手が絶対必要！ 協力団体 ○団体ではなく、個人に声をかけている 開催場所の治安 ○グリーン公園の治安。今後の安全性が心配	子どもに関わる団体の想いとして ○子供委員会には必ず連絡してもらおう（青少年育成委員会より） ○声をかけやすい各種団体には連絡しそう ○地区子連、青少年育成委員会、民選議一席に協力しあえる ○キャンプ場では話しだすが？	○子どもに関わる団体による活動運営 ○子どもに関わる団体による活動運営